

審議まとめを踏まえ国において対応が必要な事項の工程表(案)①



2. 大学院教育が2040年の需要に応えるために

2 大学院改革に係るこれまでの施策の成果等を検証し、使いやすい情報として提供する

審議まとめ

(博士課程教育リーディングプログラム)

(4~5月: 調査内容検討・決定、夏頃から調査実施)
博士課程教育リーディングプログラムの具体的な成果や課題、他の大学院への普及を見据えた必要なプロセス等を整理するための調査(学生・修了生、教員、PO、雇用主等に対するヒアリング、アンケート調査を含む)

結果を周知

調査結果を各大学に提供し、博士課程教育リーディングプログラムの成果の各大学での普及・定着を図ることで、社会ニーズや学修者個々のニーズに積極的に対応し、大学院教育の改革を促進

3. ①三つの方針を出発点とした学位プログラムとしての大学院教育の確立

3.①-1 三つの方針の策定・公表を法令上義務づける

審議まとめ

法令改正準備作業(学校教育法施行規則)

(4月~) 大学院部会 → パブ → (夏頃) 大学院部会・大学分科会
(改正概要) コメ (諮問・答申) 改正公布

(4月頃) 施行

三つの方針の再点検等を通じて、大学全体としての教学マネジメントの確立を図る

3.①-2 定員設定柔軟化の制度的検討

審議まとめ

(2020年度以降~)
各大学の見直しの状況を踏まえて審議

3. ②各課程に共通して求められる教育の在り方

3.②-1 「博士課程教育リーディングプログラム」の優れた取組の普及、「卓越大学院プログラム」等を通じて優れた事例の創出と普及

審議まとめ

<再掲>
(博士課程教育リーディングプログラム)

(卓越大学院プログラム)

(4~5月: 調査内容検討・決定、夏頃から調査実施)
・博士課程教育リーディングプログラムの具体的な成果や課題、他の大学院への普及を見据えた必要なプロセス等を整理するための調査(学生・修了生、教員、PO、雇用主等に対するヒアリング、アンケート調査を含む)

(4月~) 実施状況調査 → 結果を周知

(4月~) フォローアップを実施 → 結果を周知

調査結果を各大学に提供し、博士課程教育リーディングプログラムの成果の各大学での普及・定着を図ることで、社会ニーズや学修者個々のニーズに積極的に対応し、大学院教育の改革を促進

3.②-2 海外における先行事例(PSMなど)を調査し、情報提供する

審議まとめ

(4~5月: 調査内容検討・決定、夏頃から調査実施)
PSMなど、産業界と連携し、理系の素養や専門的知識とビジネスで必要なスキル能力を併せ持つ人材育成について海外の先行事例の調査

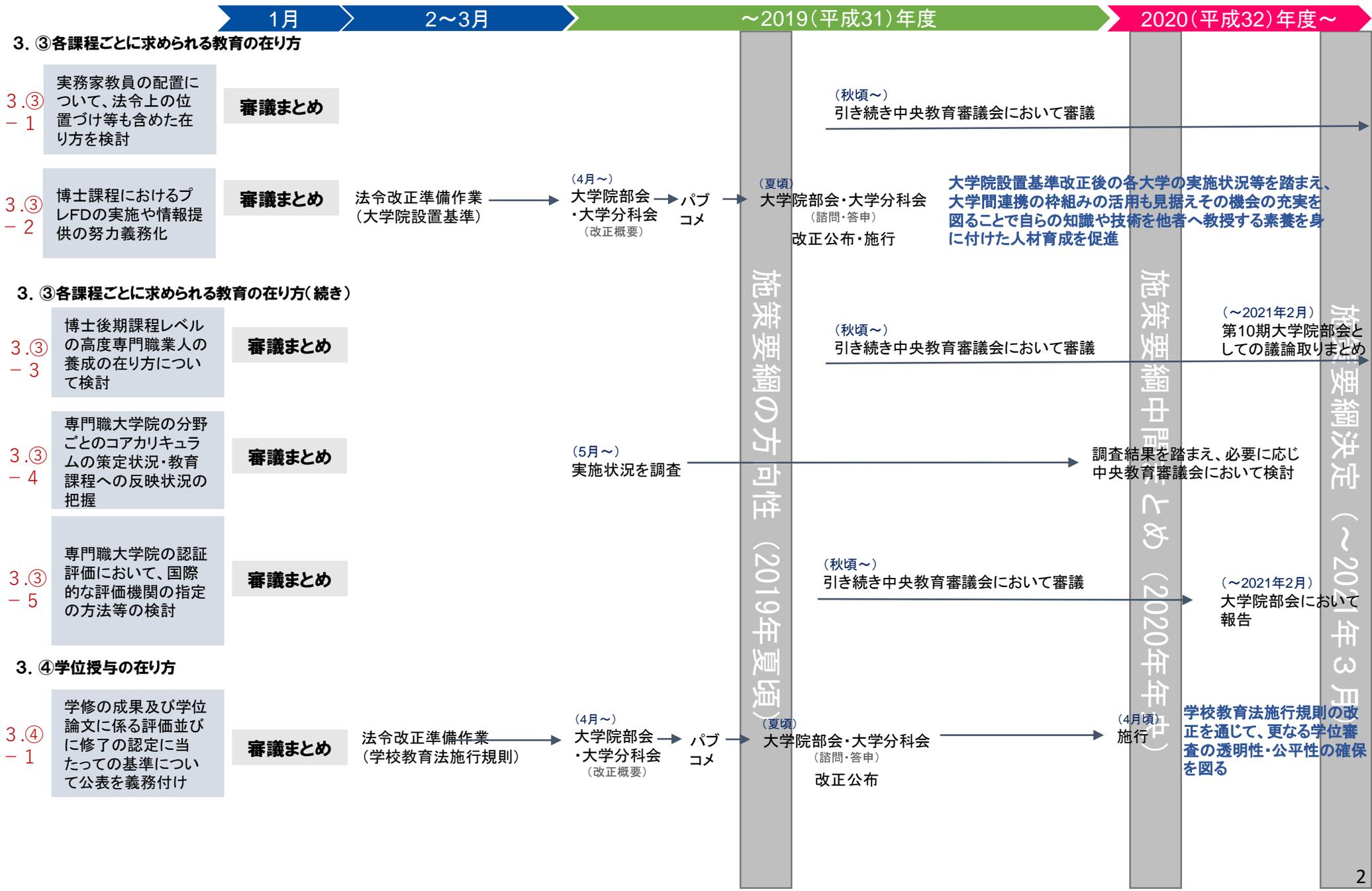
結果を周知

日本と海外の大学院の取り巻く状況や環境の違い、将来の大学院学生に求められるスキル・リテラシー等に留意しつつ、海外の先進的取組を情報提供することで、学部・研究科等の枠を超えた学位プログラムの積極的な活用を促進

2019年(夏頃) 策定要綱の方針

2021年(3月) 策定要綱の決定

審議まとめを踏まえ国において対応が必要な事項の工程表(案)②



審議まとめを踏まえ国において対応が必要な事項の工程表(案)③

	1月	2~3月	~2019(平成31)年度	2020(平成32)年度~
3. ④ 学位授与の在り方(続き)				
3.④-2	博士論文研究基礎力審査(QE)による修士学位の授与状況及び該当者の博士取得状況の調査	審議まとめ <i>(QEの実施状況)</i>	(4~5月:調査内容検討・決定、夏頃から調査実施) QE導入大学における好事例(異分野・外部審査員体制等の多角的な評価、カリキュラムマップ、ルーブリックの適切な設定等)等を把握する調査 (秋頃~) (独)大学改革支援・学位授与機構が実施する学位授与状況調査にQEによる学位授与件数等の調査項目を追加の上調査 <i>(QEによる学位授与件数及び博士号取得件数)</i>	(2020年~) 調査結果を踏まえ、引き続き中央教育審議会において検討 (2020年春頃~) 調査結果を踏まえ、引き続き中央教育審議会において検討
3.④-3	論文博士の授与以前の単位修得や研究指導の状況、学位授与までの期間等を把握し、引き続き検討	審議まとめ	(4~5月:調査内容検討・決定、夏頃から調査実施) 左記事項について調査し、各大学における論文博士の実態を把握	(2020年頃~) 調査結果を踏まえ、引き続き中央教育審議会において検討
3.④-4	博士学位の取消が行われた際の公表の在り方を検討	審議まとめ <i>(学位取消の公表状況等)</i>	(4~5月:調査内容検討・決定、夏頃から調査実施) 各大学の学位規程における博士学位の取消に係る事項の規定状況や、大学院における倫理教育等の実態を調査 (秋頃~) <再掲> (独)大学改革支援・学位授与機構が実施する学位授与状況調査に学位取消件数の調査項目を追加の上実施 <i>(学位取消件数)</i>	(2020年頃~) 調査結果を踏まえ、引き続き中央教育審議会において検討 (6月頃) 調査結果を踏まえ、引き続き中央教育審議会において検討
3. ⑤ 優秀な人材の進学の促進				
3.⑤-1	大学院入学者選抜実施要項の見直し	審議まとめ	(4月~) 文部科学省において検討(審議状況を冬頃中央教育審議会に報告)	(2020年6月頃) 実施要項改正・公表 (対象は2021年度入学者から) 「入学者受入れの方針」に沿った特色ある多様な大学院入試方法の展開を図り優秀な人材の確保につなげる
3.⑤-2	文部科学省の経済支援施策の進学意思決定タイミングを踏まえた決定早期化の検討	審議まとめ	(4月~) 検討の開始(JSPSの特別研究員、授業料減免、奨学金)	(検討の結果実施可能な事業から随時実施) ファイナンシャル・プランの提示とあわせて、経済的支援施策の決定早期化を図ることで、進学に当たっての経済面での不安を解消し、博士後期課程進学の促進を図る(※以下3.⑤-3、4、5同じ)
3.⑤-3	優秀な学生への経済的支援の実施	審議まとめ	博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラム等、関係施策を引き続き実施	(4~5月:調査内容検討・決定、夏頃から調査実施) ・博士の経済的支援状況調査に貸与型奨学金の返還免除の状況等の調査項目を追加の上、調査 (2020年~) 調査結果を踏まえ、引き続き中央教育審議会において検討
3.⑤-4	国費だけに頼らない経済的支援の事例収集・周知	審議まとめ	(4~5月:調査内容検討・決定、夏頃から調査実施) ・多様な財源を活用した経済的支援の事例及び対象人数、金額等についての実態把握	(秋頃~) 好事例についてヒアリング等を実施し、中央教育審議会の議論に活用 (2020年~) 調査結果を周知・公表

実施要項決定(2021年3月)

審議まとめを踏まえ国において対応が必要な事項の工程表(案)④

1月

2~3月

~2019(平成31)年度

2020(平成32)年度~

3. ⑤ 優秀な人材の進学の促進(続き)

3.⑤-5
大学院在学を通じて必要な学費や支援等の見直し(ファイナンシャル・プラン)の提示の努力義務化

審議まとめ

法令改正準備作業(大学院設置基準)

(4月~) 大学院部会・大学分科会(改正概要)

パブコメ

(夏頃) 大学院部会・大学分科会(諮問・答申) 改正公布・施行

ファイナンシャル・プランの提示とあわせて、経済的支援施策の決定早期化を図ることで、進学に当たった経済面での不安を解消し、博士後期課程進学の促進を図る(※上記3.⑤-2, 3, 4同じ)

3. ⑥ 博士後期課程修了者の進路の確保とキャリアパスの多様化

3.⑥-1
諸外国の博士人材の活用状況や能力に見合った処遇についての情報収集・発信

審議まとめ

(4月~) 文部科学省において調査設計・情報収集

(4月頃~) 2020年度調査を実施予定(可能であれば前倒し)

調査結果等を踏まえ、諸外国の博士人材の活用状況や処遇等の情報発信等を実施し、企業等の意識・慣行の変革を促すことで、博士後期課程修了者のキャリアパスの多様化を図る(※以下3.⑥-2, 3同じ)

3.⑥-2
大学院生の採用や処遇について優れた取組を行っている企業等の取組を発掘

審議まとめ

(夏頃~) 経済団体、関係省庁等との意見交換を通じて優れた取組の発掘方法を検討

(秋頃~) 企業の優れた取組を発掘

結果を周知

3.⑥-3
研究者以外の進路での博士課程修了者の専門性の活用や処遇について事例を把握

審議まとめ

<再掲> (博士課程教育リーディングプログラム)

(4~5月:調査内容検討・決定、夏頃から調査実施) 博士課程教育リーディングプログラムの具体的な成果や課題等の調査の中で左記事項の事例把握

結果を周知

(夏頃~) リーディング大学院を通じた修了生等へのインタビュー、JSPSと連携した研究者以外の修了生紹介パンフレット作成等

結果を周知

3. ⑥ 博士後期課程修了者の進路の確保とキャリアパスの多様化(続き)

3.⑥-4
博士課程修了者の積極的な採用や大学院での学位取得を奨励する取組の実施

審議まとめ

(3月) 「文部科学省創生実行計画」(文部科学大臣決定)において職員の学位取得の奨励について記載

博士課程修了者の積極的な採用、職員の学位取得の奨励について、更に検討

3.⑥-5
JGRADの登録拡大、データベース更新を促す取組及び登録インセンティブの向上

審議まとめ

(2月) 卓越大学院プログラム公募説明会で、JGRAD参加が求められていること及び具体的な参加方法を説明するとともに、NISTEPウェブ上でも広く参加募集を呼びかけ

(春頃) 登録者及び参加大学に対し、博士課程修了者のキャリアパス形成に関する意識調査分析結果を提供

(5~6月頃) 参加大学におけるアンケート機能の利用の策定・周知。

(5月、10月) 博士課程進学者への登録依頼(年間を通じて)登録者へ提供する求人情報、博士人材のロールモデル等の情報の拡充

(夏頃) 卓越大学院プログラム2019年度採択大学へのJGRAD参加依頼(夏頃~) 参加大学自身によるアンケート調査の開始

(秋頃) データベース登録更新の一斉呼びかけ

施策要綱の(2020年夏頃)

審議中間まとめ(2020年秋)

施策要綱決定(2021年3月)

審議まとめを踏まえ国において対応が必要な事項の工程表(案)⑤

